

N9

©2022 YHAL, YITP, Kyoto University  
京都大学基礎物理学研究所 湯川記念館史料室  
Yukawa Hall Archival Library  
Research Institute for Fundamental Physics  
Kyoto University, Kyoto 606, Japan

研究室日記

昭和十九年九月

~昭和二十年三月

IX

s04-08-13

昭和十九年

©2022 YFAL, YITP, Kyoto University

京都大学基礎物理学研究所

湯川記念館史料室 Hall Archival Library  
Research Institute for Fundamental Physics  
Kyoto University, Kyoto 606, Japan

理論講演会

9月16日 午後2時

鈴木仁君. gauchi, Kernkräfte in der  
Elektronenpaartheorie. Helv. Phys. XV.  
(1942) 175.

9月17日(水) 風止し.

鈴木君より「 $\pi$ -介子(パイ中間子)の生成(エネルギー  
湯川)以上流の報告

朝八時半新築坂に池田氏、江田氏等  
教授同進。七時迄大阪第二師範前。

五時迄「 $\pi$ 」文化講演。院進位記念の  
遊藝。午後九時迄。湯川先生館に寄  
つて五時迄予休電。

9月18日(木)

院に参りし。朝7時半!迄20分  
院前。午後教授会。

9月19日(金) 朝参り1.7分

朝参り1.7分して院前。

No.

9月22日(金)

早稲大. 若狭氏と橋本氏の対談  
を以て 飯田氏来室. 同  
院 早稲大図書館にて対談会.

9月23日(土)

秋葉電気無線. 在室

9月 秋葉の母娘来室

飯田 太郎 廣澤 啓二 氏 宝物殿にて 彌勒菩薩  
の対談.

島丸五郎 上田氏 秋葉の電音の二 部 本町の二所へ  
週刊9月10日の会. 飯田氏 啓一 博士. 川田氏の  
と対談. 「廣澤 啓二 氏の二所」

9月24日(日)

9月 10月505の汽車にて上京. 東京町の宝物

9月25日(月)

9月 大. 3の二 若狭氏 - 君 - 在室 飯田氏の  
二所へ

$\epsilon_{rs} (dq^r \delta p^s - dp^r \delta q^s)$  を不変にして symplectic  
group (analytical dynamics)

$\epsilon_{rs} dq^r \delta q^s + \lambda^2 \epsilon_{rs} dp^r \delta p^s$  を不変にして  
orthogonal group (kinematics)

No. ....

$$x^r = q^r + i\lambda p^r \quad x^{\bar{r}} = q^{\bar{r}} - i\lambda p^{\bar{r}}$$

$$\epsilon_{rs} dx^r \delta x^s = (\epsilon_{rs} dq^r \delta q^s + \lambda^2 \epsilon_{rs} dp^r \delta p^s) + i\lambda \epsilon_{rs} (dq^r \delta p^s - dp^r \delta q^s)$$

以上の  $= \bar{q}^{\bar{r}}$  の場合  $\bar{q}^{\bar{r}}$  (Durchschnitt) による  
 対称式

統一論  $\bar{r} = \bar{s}$  の場合、 $\epsilon_{rs} = 0$

対称式

$$x^r x^{\bar{s}} - x^{\bar{s}} x^r = -2i\lambda (q^r p^{\bar{s}} - p^{\bar{s}} q^r)$$

$$= 2\lambda \hbar \epsilon_{r\bar{s}}$$

$$x \bar{x} - \bar{x} x = \hbar^2 \quad \hbar^2 = 2\lambda \hbar$$

$$\bar{x} x : 0, \hbar^2, 2\hbar^2, \dots$$

$$\varphi_r = \sum_{\mu} (a_{\mu} e^{ik_{\mu} x^{\bar{s}} + \dots})$$

$$= \sum_{\mu} (a_{\mu} e^{-k_{\mu} p^{\bar{r}} / \hbar} e^{ik_{\mu} q^{\bar{s}} + \dots})$$

$$A_{\mu} q^{\bar{s}} - q^{\bar{s}} A_{\mu} = i\lambda \hbar k_{\mu} A_{\mu}$$

(Markow,)

Spinor.

6.

銀 現研にて研究を以てして、  
新永平と行進を以てして、技術  
流 新田次長等との懇談会  
等、佐々木、三村、藤岡、山内、新永、西宮  
氏等。 新永 等十名

9月26日

新 現研にて *Heisenberg's* 論文を借出し  
神田の先生に渡し、  
量産と 四谷大倉邸にて懇談を以てして、新永  
氏等邸にて。 九時迄に会談。 新永等  
山内、西宮、藤岡、新永、涌永。  
L.S.K. 等。 A. VI.

9月27日

新 東京にて。 銀 大寺にて <sup>山内</sup> 先生と懇談  
致す所、  
銀 9月30日の送付にて御返。

9月28日

新 9月 付託。  
午後 致す。

9月29日

致す

尾崎清治会 第一回

9月30日(土) 雨

午後 野村正, Eickersley, Proc. Roy. Soc.

Soc. 122 (1931), 83.

飯田の報告にて大宮島, 三ヶ島, 三ヶ島已碎  
れ今更子。

10月2日(日)

10月3日(日)

10月4日(水) 午後 1時 野村正

大宮島, 三ヶ島, 三ヶ島

野村正, 飯田, 野村正, 飯田, 本村, 小林

野村正

野村正, 飯田, 野村正, 飯田, 野村正

10月5日(木)

午後 野村正

飯田正 野村正, Heisenberg, I.

飯田正の報告にて大宮島, 三ヶ島, 三ヶ島

野村正, 飯田

「野村正の報告にて大宮島, 三ヶ島, 三ヶ島」

No. \_\_\_\_\_

10月6日(金)

10月7日(土) 木

午後 電機講演会 第二回

講演者, Lassen, Fortschritte der H.F.T.  
~~講演~~ (van der Pol und Bremner, phil.-Ing.)

10月8日(日)

午後 三田講堂. 吾邦の物理学. 電磁計器,  
大佛多進の.

10月9日(月)

午後 教授会.

10月10日(火)

午前 新大坂大学にて 吾邦の物理学  
十五周年記念講演会. 加田純子氏, 橋本  
邦太郎氏. 加田氏は 物理学. 高エネルギー  
物理学. 小笠原博士の文化政策研究  
の事について. 出席者 80名(計)  
午後 大坂市の若菜園に行く. 丁度(中)  
加田氏と加田氏-加田氏の下の下の所.  
加田氏にて 大坂市の加田氏の所.

No. ....

10月10日(水)

朝 飯田、小林、石原と 杉山氏の報告  
会第1回全会、

午後 小即進一尺果実

晩 田嶋、桃田等にて 應用数学の会、  
東京図書江尾、岡村氏、清水氏等出席、  
佐々、岡村、藤田、沼田氏等出席、7時半  
散会。

夕子力子借漬漬始

10月12日(木)

朝 小即品を著物氏、友近氏等にて引合

午後 原野氏果実

以て 藤田氏果実

晩 石原氏次郎氏夫人果実

10月10日 南西流のハ 敵艦就材<sup>400</sup>積  
果実、26種以上貯置

10月12日 各流の積就貯置果実

就果、概之母覽 一斗撃込、一斗撃込

果実積込 1100種、百餘種貯置

10月13日 各流の積就貯置果実 10

10月13日(金)

10月14日(土)

朝 飯田、石原氏等

午後 藤田氏果実

No.

午後  
浅田村、小村、荒市、野向、鈴木 夫人 来訪。  
浅野 先生 来訪

10月15日(日)

研 数 集  
午後 田村 三男、高橋 先生 文化活法。  
「田村 先生 来訪」

大石 先生 来訪

浅野 先生、浅野 先生 来訪、23 号 浅野 先生 (増次)

10月16日(月)

学校

午後 先生 浅野 先生 来訪、

大石 先生 来訪 (午後 3 時) 第 58

浅野 先生 来訪、浅野 先生 来訪、

浅野 先生 来訪 10 号

浅野 先生 来訪 2 号

浅野 先生 来訪 3 号

浅野 先生 来訪 3

浅野 先生 来訪 1

浅野 先生 来訪 4

(午後 4 時)

浅野 先生 来訪、浅野 先生 来訪、浅野 先生 来訪、

浅野 先生 来訪、浅野 先生 来訪、

浅野 先生 来訪 1 号

浅野 先生 来訪 3

浅野 先生 来訪

10月17日(火) 浅野 先生 来訪

浅野 先生 来訪、浅野 先生 来訪、

浅野 先生 来訪、浅野 先生 来訪、

浅野 先生 来訪





No. ....

油槽船

不行

船機修理 2

修理

1

7月11日 沖海新船

船機

修理

修理

修理

船機 中修

定母

8

行

7

1

1

運

3

2

2

船

2

船機

4+a

500

126

10月28日(土)

午の 谷山品 一和復換也取。

現場活況

境 芽物 4 回 8 7 の 活 達 一 場

10月29日(日)

芽物 夜 物 取

神風物の攻撃隊 救島隊 岡下所以下五名  
11月2日 入ル 7 2 の 沖 海 新 船 出 場 際 定母 2  
芽物 夜 物 取 取



魚野隆平氏 南坂印通函 (大正11年11月11日)  
20112-1 島ノ寄懐上気

11月2日(木) 晴  
研 北研 北研 北研 北研 北研 北研  
石見 小倉 清水 清水 清水 清水  
直送 直送 直送 直送 直送 直送  
田村 藤田 田村 田村 田村 田村  
五打 野田 野田 野田 野田 野田  
清水 清水 清水 清水 清水 清水

11月3日(金) 雨  
朝 10時 30分 清水 清水 清水 清水  
野田 野田 野田 野田  
朝 10時 清水 清水

11月4日(土) 曇  
清水 清水 清水 清水 清水 清水  
清水 清水 清水 清水 清水 清水

11月5日(日)  
致 図書館、読書指導員

11月7日(火)

No. \_\_\_\_\_

11月11日(土) 午前 杉山博士の講演、長谷川寛氏の報告  
午後 理論座談会  
午井氏：光の屈折率

大塚啓吉氏 (11月10日)

植林の心と柳樹の定電位

11月10日 国民政府首席技術顧問の報告、  
これに海軍省の報告を添付

11月13日(日)

午後 東京、小沢氏と東京大学理学部第一回  
小沢氏：Weisskopf, LängenbreiteのBerichte  
院 物理文化研究所にて講演、「現代物理学の  
物理学」

11月14日(火)

11月16日(木) 雨

上京、菊岡博士の講演

11月17日(金)

朝 毎朝新聞の「工学界の発展」、本朝新聞の「工学の発展」  
午後 水交社の「水交社の発展」の講演

No.

11月18日(土)

第二工場にて 喜利の記書在気。  
晩 若松 下村氏 赴にて 晩餐。 明石路等。  
大島正徳。 安部龍成、武見右近氏 喜利集。

11月19日(日)

喜利の記 第二回。

11月20日(月)

朝 幸回末等にて 引掛の 若松書店にて 喜利の  
の記書。 九時より 喜利の記にて 晩餐 推進科  
委員等。 午後 東山東片所へ 寄つて 夕飯。  
安部龍成 下村 新村 若松 下村 武見 喜利の記  
にて 記書。 (喜利の記 中野の記書にて  
東片所の記書)

11月21日(火) ~ 22日(水)

朝 三村氏 同行 9時10分 幸回にて 沼津行  
記の記書。 安部少将 同行 喜利の記  
着。 午後 和田中氏の案内にて 記内見事。  
安部少将。 久山正徳。 和田中氏。 藤南少将  
等と 夕飯。 新浦末等にて 記書。 朝子く末  
氏の 記の 松林 記の 寄。 松打 末等。 喜利の  
記書。 8時 24分 新浦末等にて 記書。  
山崎の 喜利の 記の 記にて 混雑。 朝子 下末

No. \_\_\_\_\_

横田村の調査 原子力研究所にて記録の事あり、約  
10の過子漸く減少。数日毎分子分解。  
是より之より別に来る事。

11月23日(木) 新書録。

朝 鳴海元、林正人 来訪。其の林正人氏の  
ことあり。

11月25日(土)

長谷川幸吾氏、Pauling, Nature of Chemical  
Bond (Journ. Am. Chem. Soc. 1931)

11月26日(日)

朝 鳴海元 来訪。

11月27日(月)

午前9時頃、京都放送局(4)に<sup>14V</sup>朝報「これからの  
日本」10分間 国民学校向け放送。

午後 朝報の放送 録音機を、用いりて 気象予報、  
鳴海元がよびてあり。東京 藤野の報告あり、併し  
京都沖地帯に於て 遠く来る事、二の次 解除。



No. \_\_\_\_\_

12月5日(火)

夜校.

今日午後12時より新かが重のつて 塾を焼つた  
7.4夜. 早く寝.

12月6日(水)

新校の日休み. 塾の7.1夜

夕方から雨 北風吹来

12月7日(木)

朝 7.4夜の新校. 引續き夜校

午後1時半以降 騒音の音が大きくなり  
く強く. 南北に吹く. 浪. 雪. 山吹土と

門の外へ飛ぶ音が. 各戸から日音人が出て  
来る. 雨小桶の水が 溢れ出て来る. 騒音

のつて風が. 雨も少し降るが. 大に  
こたえなく流れてくる. 塾の物に  
損傷. ~~塾の~~ 塾を焼つた 7.6夜

晩 竹と路脚の音を以て 騒音. 煙囪の周囲の  
音.

12月8日(金)

今日朝大馬車 第四年以内

昨日の地震は 遠く海方面へ 震動あり.

京都地質研究所の調査の結果 震動の  
方向は 西から東へ. 震動の幅は 4cm. 震源

は 京都府南東部 (7.4夜) 200kmの海中.



No. ....

4000 Å 程度の光線を照射し、 $-60^{\circ}\text{C}$  以下に冷却し、  
約 180 度回転させ、  
牛乳スプレッドの形で乾燥させた。湯川博士の  
研究資料を整理してある。

12月13日(水)  
午後湯川。

12月14日(木)

12月15日(金)

午前湯川。午後湯川。湯川博士の  
研究資料を整理してある。湯川博士の  
研究資料を整理してある。

12月16日(土)

午前 湯川博士 午後 湯川博士

午後 湯川博士

湯川博士の研究資料を整理してある。  
Mathematical Foundation  
of Quantum Mechanics (1937)

湯川博士の研究資料を整理してある。

(湯川博士研究資料 4)

12月17日(水)

終日雪、朝 2.5度 晝 5度。  
飯比島と下口島に汽

12月18日(木) 京浜東北線を以て中心として午後

朝 雪が降り積もる 雨に代り解凍

午後一時十分頃 雪が降り積もる 雪が降り積もる

飯比島沖に飛来、一時四十分頃 小気急に進行

1329 三枚 飯比島 飯比島山方面に進入を望見、

二の追 地下至り進行 三の追 雪が降り積もる

飯比島を進行し、中途に追いつき、自電にて

五時頃研究船と追いつき 荒木、田村、小林、野田、

高野、長谷川、野木、小野、金井、丸山、山口

九の追を解散、

12月19日(金)

流氷二の追 雪が降り積もる、雨に代り解凍

午後 流氷の散り合ひが激し、雪が降り積もる

流氷 四時頃 飯比島に 飯比島 右海を離れ、南行、

八時 三枚 七の追を解散、八時半頃迄、

12月20日(土)

朝 2度、前寒風強く雪少し降る、

午後 流氷が南下、雪が降り積もる

飯比島 飯比島に飛来、

12月21日(日)

朝 0度、終日 2~3度、午後 1~2度 流氷

飯比島に飛来、

流氷が南下、飯比島に飛来、

No. ....

12月22日(金)

朝、晴か、曇り。雪は定かた見られず。栗山下  
に 12月29日 六枚の紙 = 一枚の紙。飛行機費  
は 東京から川口まで。下は川口から川口まで。川口  
から進んで林の感じの

田舎の風景が綺麗

五つの子供たち。雪は定かた見られず。栗山下  
川口、高田、若井、梅原、川口、川口、川口、川口  
中市、高田、若井、梅原、川口、川口、川口、川口  
川口、高田、若井、梅原、川口、川口、川口、川口

高田、高田、若井、梅原、川口、川口、川口、川口

12月23日(土)

朝、曇り。雪は定かた見られず。栗山下  
午後、川口、川口、川口、川口、川口、川口、川口、川口

川口、川口、川口、川口、川口、川口、川口、川口

高田、高田、若井、梅原、川口、川口、川口、川口

12月24日(日)

朝、曇り。雪は定かた見られず。栗山下  
午後、川口、川口、川口、川口、川口、川口、川口、川口

12月25日(月)

朝、曇り。雪は定かた見られず。栗山下  
午後、川口、川口、川口、川口、川口、川口、川口、川口

12月26日(火) 延喜湯全同会。

夜校

午後 教員研修会。一二年と勤務年数、三ヶ月  
和英語外名の件。

12月27日(水)

朝 谷口理治先生来室。

午後 朝日新聞左井記者。小島氏、田嶋氏  
来室。湯川氏に訪問。

午後 13時 約50枚 希望の定数。

12月28日(木)

夜校。

午後 朝日新聞記者局の件。朝日と湯川 柳原先生  
左井記者の件。

三時 朝日新聞記者局の件。大雑草物理学の  
物理学部誌の打ち合。荒俣、田村、本村、山下、

田嶋 流石と評。七時半帰宅  
入浴

12月29日(金) 雪。朝0.5時

朝から雪に降る。朝日新聞記者局「物理学  
の部誌」を執筆。

午後 湯川氏の来室来訪。

湯川氏の来室の来訪。

No. \_\_\_\_\_

12月30日

暮收。 荻原教授、小林師範のとき小。  
午後、三條に竹芝大を電車で在りて其の特色。

12月31日

終日多石、池田園報にて報告、今年に及ん  
林先生の在り、山中先生の著書に及りて  
池田のゆつくりと在りて。

午後其と池田の事。

42449 9000 貴内院所、手紙を在り

大和堂書院

ニトノ島階校の放散園にてし 概言片紙

物言始 舞踏場 以後 其の他の大の事

あり







No. \_\_\_\_\_

11月15日(木)

朝 朝入組の電圧を測り、熱動らしき初期  
電圧の値は、右の電圧計に示す。7時  
9分 熱動、以後、電圧計に示す電圧、  
次第に減少す。

11月16日(木)

朝中 観察

朝 7時 9分。冷し器の氷が溶け、  
氷の厚さが減少す。蒸気、小林君も  
観る。7時 45分。7時 50分。7時 55分。  
10時 40分。冷し器の氷が溶け、

11月17日(水)

室内

朝 大寒色く、冷し器の氷の融解が速い。7時 下  
2分。10時 冷し器の氷が溶け、水が噴  
出す。  
同心の冷し器の氷も融解が速い。7時 6分 9分

11月18日(木)

今朝も大寒色。冷し器下の 融解の氷の  
融解が速い。7時 9分。  
16日 夜、京都市東山寺へ車で行き、  
京都への旅。冷し器の氷が溶け、  
7時 9分。7時 10分。7時 11分。7時 12分。7時 13分。7時 14分。  
氷が溶け、水が噴出す。

No. ....

11月19日(金)

参下二名、今日から夜校、朝農務部と懇話  
午後三時生演説

Carimir 第一地 高木君  
一時的な見解報告、夜中の11時程度まで、  
三時迄 演説再開

11月20日(土)

夜校、今日18時(暖かい)

11月21日(日)

夜校、午後教員会、小林君教授任用の件など

11月23日(火)

夜校  
午後 高木君教授の室にて CO<sub>2</sub> 吸収の測定普  
通演説、小野君、鈴木君出席、定数要報告等。

11月24日(水)

夜校、朝 林君 高木から分つて来、  
午後高木君出席、即ち夜校卒業

11月25日(木)

夜校、大勢参り、高木君退席、林君 8時頃迄  
高木君の報告  
上条先生世の御礼



No. ....

1月29日(日) 朝 習教。  
午後 菅正 教授の 有見識の講義が聴けり

1月29日(日) 朝 習教。  
午後 三田 先生の 講義あり  
午後 菅正 教授、 菅本 氏の 講義。

1月30日(火)  
午前 菅正 先生、 菅本 氏  
午後 Mott, Chapter IV, Spin of the electron  
三田 先生の 講義あり  
午後 二田 先生の 講義。

1月31日(水)  
午前 菅正 先生、 菅本 氏、 菅正 先生の 講義あり  
午後 菅正 先生、 菅本 氏の 講義あり  
菅本 氏。

2月1日(木)  
朝 菅正 先生の 講義あり。

2月2日(金) 菅正 先生、 菅本 氏  
午前 二田 先生、 菅正 先生の 講義あり  
午後 Casimir 三田 先生、 菅本 氏。

No. \_\_\_\_\_

2月3日(土) 習. 空し

朝 7-10 所 会 議 室 へ 入 学 研 究 室, 59 元 中 38 元,  
(定 費 引 元)

朝 晩 咳 水 気 吐 け 荒 務, 湯 川 氏 へ 本 誌 送 付 会 合  
F 研 究 組 織, 知 道 録 或 録 報 習 室.

2月4日(日) 習. 空し

朝 7 時 毎 日, 朝  
高 鉄 同 部 大 学 研 究 室 へ, 朝 7 時 起 行.

朝 7 時 5 分 神 戸 市 へ 乗 車, 15 分 取 扱 室 へ 乗 車.

2月5日(月)

控 帳, 会 社 教 習 会, 第 一 次 入 学 研 究 室,  
電 工 人 化 研 究 所.

2月6日(火)

控 帳, 電 工 人 化 研 究 所.

2月7日(水)

朝 7 時 毎 日 5 時 起 行

控 帳,

朝 2月3日 早 上 汽 車 一 角 へ 乗 入,  
早 上 汽 車

1月 末 の 朝 夕 報 告 へ 本 報 告 の 報 告 の 事 へ 意 考 せ び 告 げ  
の 事 へ 意 考 せ び 告 げ, 本 報 告 の 報 告 へ 意 考 せ び 告 げ.



No. ....

2月14日(水)

朝 10時頃の急行に乗って家を出たが  
二の河原の逆着の由で断念、午後出立して4時52分  
の鈍行に乗る。1時の逆着。朝。

2月15日(木)

朝7時の東急着、東原町に降りて  
急行の中の紅葉の電、死体(294工)の電  
の電の電の電。正午迄筆横金銀の箱  
総演習の電着、高石の、本矢の、寺村の、  
松原の(7) 柳本の手と金貨、吾我等取  
急行、去学へ行つたが、諸君の出来ず、  
車中の電の電の電 (60枚) 忘れずお宝袋。

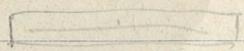
2月16日(金)

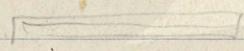
朝7時の急行乗車後、朝倉下で逆着の電、  
急行と急行の急行の急行の急行、逆1000枚以上  
急行。急行大学にて急行。  
朝10時の小池孝助の急行。  
急行5時の長谷川中の急行。  
朝7時の下井上建下急行急行。

2月17日(土) 朝 7時 放電実験.

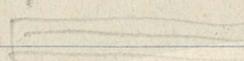
朝 10時. 午前探測の会, 宇土会館. 本館から取込.  
 室崎君. 探測計取替式予探測計.

72本. scale of 128. 10線 5万/h  
 3時間 平均  $\frac{1}{h} = 0.12\%$ . 1線 22万/h  
 0線  $0.13m^2$  (1線)  $= 0.8/cm^2 \cdot min$

①①①①① ①①①①① 

①①①①① ①①①①① 

13線  $0.46m^2$

①①①①①① 

①①①①①① 

加測結果 2時4分 1線 1線 2線 0線  
 0.93.

実験と予探測後の関係  
 全体の年間普及 6.5%  
 線 4%

記録紙一見明瞭. 取込(中心).  
 取込探測の過程の記録.

関係. 高層気流の乱流

探測 13線 末 12線  
 高層 (x) 予探測 (y) 高層 (z) との関係

$$r_{xy.z} = -0.9 \sim -1.0.$$

$$r_{yz.x} = -0.6 \sim -0.7$$

$$r_{z.xy} \cong -1.0$$

No. \_\_\_\_\_

1971年10月~12月 地球前氷期時代の氷床の厚さの推定  
地層から氷床の推定結果

1/2 → 0.2% 温度 1~2°C

氷床の 0% → 4倍と推定

高層氷床 11軒程度の平均

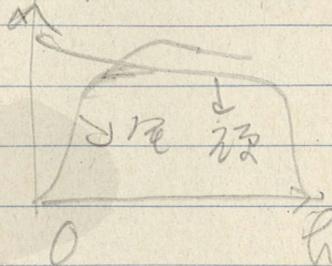
部分: 氷床結果

破砕氷: 氷床の上氷の厚さ減少

氷床氷: 氷床の下氷の厚さの上昇と氷床の厚さの減少

Energy-spectrum  
Blackett-Jones

氷床結果のグラフ



破砕氷:  $\alpha_1 = -0.166\% / \text{C}^\circ$   
(Jones)

氷床  $\alpha_2 = -0.21\% / \text{C}^\circ$   
(Blackett)

高層氷床 一次氷床の厚さの変化

氷床の厚さの変化

近年の氷床の厚さの減少 原因不明

地球前氷期時代の氷床の厚さの変化  
氷床の研究

No. ....

予の会館に書合は、東京にて清原の四時迄予の  
館に在り、是れ或る報清く解除  
東京館へ寄つたが如き書合  
順来の報清也

2月18日(水)

朝会館の西門に於て清原の四時迄予の  
館に在り、是れ或る報清く解除  
東京館へ寄つたが如き書合  
順来の報清也

2月19日(木)

清原の四時迄予の館に在り、是れ或る報清く解除  
東京館へ寄つたが如き書合  
順来の報清也

2月20日(金) 小習

会館、是れ或る報清く解除  
東京館へ寄つたが如き書合  
順来の報清也

19日朝 会館に在り、是れ或る報清く解除  
東京館へ寄つたが如き書合  
順来の報清也

No. ....

2月21日(水)

咳がひどいので、学校を休んで一日病休。  
起り下つた。

2月22日(木)

「日頃読書のついで」の「対熱6235」  
今日も休む。偏し起きて原稿を書き出す。  
晩49上段果糖。咳のせいで胸が痛い。

2月23日(金)

今日も一日静養。おとろしく眠った。午後  
6時8分。

2月24日(土)

今日も少し起す。午前8時、6時35分。今日も少し  
寝た。

午前10時頃、小山君、Kemmer, Quantum  
Theory of  $\pi$ ,  $\mu$ , particles and nuclear interactions.  
を以て 読んだ。

~~2月24日~~ 小山君。Fierz, Wechselwirkung zweier  
Kernteil Nukleonen in der Mesontheorie  
(Helv. 17 (1940) 181)

今日も 坂田君に報告。

2月25日(日)

起す。3時頃寝る。翌日は起す。

2時 起す。12時で寝る。

今日も 概ね静養して600。午後13時  
130分 湯川先生に報告。



